

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 4625 | バグ | 新規 | ポートを接続したはずなのにシステムダイアグラム上で接続されていないように表示される | |
| 4624 | バグ | 新規 | システムダイアグラム上のRTCが消えない、OpenRTPが固まる | |
| 4484 | 機能 | 新規 | manager.modules.<lang>.load_pathsをデフォルトで空白にする | |
| 4483 | バグ | 新規 | マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。 | |
| 4472 | 整備 | 新規 | コマンドラインオプション | |
| 4272 | 整備 | 新規 | rtcprof_javaをexe化する | |
| 4156 | 調査 | 新規 | ダイレクトデータポート接続のデータ転送が遅い問題 | |
| 3643 | 調査 | 新規 | Java版の1.2新機能の動作確認 | 30.0 |
| 3609 | 調査 | 新規 | Managerの再初期化 | |
| 3608 | 整備 | 新規 | ログにエスケープシーケンスが入るため見づらくなる | |
| 3432 | 機能 | 新規 | ECスレッドを実行するCPUを固定する機能の実装 | |
| 3264 | 機能 | 新規 | ダイレクトデータポート接続機能 | |
| 3242 | 機能 | 新規 | Direct型のデータポートにコールバック機能を実装する | |
| 4618 | バグ | 担当 | 実行コンテキストが停止状態にも関わらず動作し続ける | |
| 4453 | バグ | 担当 | プログラムが終了しない | |
| 4445 | 機能 | 担当 | manager.components.preconnect の形式を変更 | |
| 4444 | 整備 | 担当 | rtc.confのデフォルトファイルパス | |
| 4443 | 整備 | 担当 | manager.refstring_pathの機能を削除する | |
| 4434 | 整備 | 担当 | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む | |
| 4427 | 整備 | 担当 | SDO サービスコンシューマの動作確認 | |
| 4411 | サンプル | 担当 | SimpleService の仕様が他の言語と異なっている。 | |
| 4389 | バグ | 担当 | rtcprof_java を引数なしで実行すると " dirname: オペランドがありません " の表示がでる。 | |
| 4388 | バグ | 担当 | rtcd_java エラーがでる(Linux) | |
| 4375 | バグ | 担当 | Linuxのサンプルコンポーネントが動作しない | |
| 4350 | バグ | 担当 | windowsでマスターマネージャからjavaのRTCを起動できない。 | |
| 4263 | バグ | 担当 | Manager::create_component()でclassファイルを検索する機能をOFFにする機能 | |
| 4261 | バグ | 担当 | 実行周期を変更してもonRateChangedコールバックが呼び出されない問題 | |
| 4212 | バグ | 担当 | Java版のStart RTC daemon(windows)が動作しない | |
| 4203 | 機能 | 担当 | マスターマネージャから多言語のRTC(スレーブマネージャ)が起動できる | |
| 4195 | バグ | 担当 | モジュールロードパスを複数設定した場合の不具合 | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|--|------|
| 4190 | 機能 | 担当 | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す | |
| 4189 | 機能 | 担当 | create_componentで指定するidの変更 | |
| 4187 | 機能 | 担当 | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する | |
| 4186 | 機能 | 担当 | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする | |
| 3704 | バグ | 担当 | ECにアタッチされたRTCが即座に追加されないためACTIVATE時に適切に遷移しない問題 | |
| 3398 | 機能 | 担当 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | |
| 3397 | 機能 | 担当 | 名前付けポリシー機能の拡張 | |
| 3396 | 機能 | 担当 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | |
| 3395 | 機能 | 担当 | 共有メモリ型データポート接続機能 | |
| 3393 | 機能 | 担当 | サービスポートのダイレクト接続機能 | |
| 3392 | 機能 | 担当 | ダイレクトデータポート接続機能 | |
| 3391 | 機能 | 担当 | トピックベースのポート接続機能 | |
| 3390 | 機能 | 担当 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス） | |
| 3389 | 機能 | 担当 | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | |
| 3388 | 機能 | 担当 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同ープロセス） | |
| 3387 | 機能 | 担当 | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同ープロセス） | |
| 3386 | 機能 | 担当 | ネームサービス操作関数セットの実装 | |
| 3385 | 機能 | 担当 | コンポーネント操作関数セットの実装 | |
| 3225 | 機能 | 担当 | 同ープロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | |
| 3039 | 整備 | 担当 | ネームサービスに登録する名前のフォーマットに関する改良 | |
| 4623 | バグ | 解決 | ネームサーバー起動ボタンを押した時に起動済みのネームサーバーが終了しない | |
| 4567 | バグ | 解決 | Java版のRTC生成時にパッケージエクスプローラーからJREシステム・ライブラリー、参照ライブラリが消える | |
| 4566 | バグ | 解決 | RTC生成時にパッケージエクスプローラーにソースコードが表示されない | |
| 4559 | バグ | 解決 | C++用のCMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind_package(OpenRTM) を削除する | |
| 4556 | 整備 | 解決 | rpmパッケージへSSLTransportを追加する | |
| 4555 | バグ | 解決 | RPM build errors: Empty %files file debugsourcefiles.list への対応 | |
| 4538 | 整備 | 解決 | RTSE上でマネジャー経由でOpenCVサンプルRTCを起動できるようにrtc.confを整備する | |
| 4529 | 機能 | 解決 | アイコンの作成（その2） | |
| 4528 | 機能 | 解決 | アイコンの作成（その2） | |
| 4527 | 整備 | 解決 | Linux用のrtcd_java, rtcprof_javaスクリプトでRTM_JAVA_ROOTを定義する | |
| 4525 | 整備 | 解決 | configure.acのライブラリ検索パスに新たなパスを追加する | |
| 4523 | バグ | 解決 | OpenRTPの設定でRtcBuilder->Code Generate->Documentを選択すると「変更を受け入れられません」という画面が出る | |
| 4521 | バグ | 解決 | 英語環境で Basic 画面に文字化けがある | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|--|------|
| 4520 | バグ | 解決 | OpenRTM-aist-Pythonのmsm生成時、rtcprof_python.batが含まれないようにする | |
| 4518 | バグ | 解決 | コネクタが切断される | |
| 4500 | 機能 | 解決 | アイコンの作成 | |
| 4488 | バグ | 解決 | RTCBuilderでC++言語を指定した場合にRTCを生成できない | |
| 4486 | 整備 | 解決 | Windows環境でのビルド時、OpenSSLのバイナリを組込む処理を追加する | |
| 4469 | 整備 | 解決 | rtc.confのログレベルの修正 | |
| 4461 | 整備 | 解決 | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する | |
| 4432 | 整備 | 解決 | Linux用OpenRTMConfig.cmakeのOPENRTM_INCLUDE_DIRSへrtm/extのパスを追加する | |
| 4204 | 整備 | 解決 | テンプレートからCMakeポリシー「CMP0002」の定義を外す | |
| 4201 | バグ | 解決 | VisualStudioソリューションファイル生成時のヘッダーの設定を正しくする | |
| 4173 | 整備 | 解決 | make installでビルドとインストールの実行時にdoxygen_classref.confでエラーになる | |
| 4170 | 整備 | 解決 | RTCテンプレートにmsi用のupgrade GUID設定を追加する | |
| 4015 | 調査 | 解決 | RTM_VC_VERSIONを変えてもPATHに反映されないことがある(1.1.2) | |
| 3786 | 整備 | 解決 | omniidl.exeでC++, PythonどちらのIDLコンパイルも可能となる環境を整える | |
| 3224 | 機能 | 解決 | 同一プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする | |
| 4552 | 整備 | 終了 | Python3.6の場合、Tkinterのimportは全て小文字で表記しないとエラーになる | |
| 4517 | 機能 | 終了 | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する | |
| 4516 | 機能 | 終了 | ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する | |
| 4513 | バグ | 終了 | ownedのECのProfileのowner属性にRTCのリファレンスを代入する。 | |
| 4509 | バグ | 終了 | スレーブマネージャ起動時にmanager.modules.load_pathを¥で区切った場合に¥が消える | |
| 4508 | 機能 | 終了 | 一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | |
| 4507 | 機能 | 終了 | 一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする | |
| 4473 | バグ | 終了 | サブスクリプション型がnewの場合に動作が停止する可能性がある | |
| 4470 | バグ | 終了 | サブスクリプション型がnewの場合に処理が停止することがある問題 | |
| 4464 | バグ | 終了 | omniINSPOAでのオブジェクト非アクティブ化 | |
| 4462 | バグ | 終了 | 複合コンポーネントの子コンポーネントをexitするとプロセスが異常終了することがある | |
| 4460 | 整備 | 終了 | コマンドラインオプションに関するコメントの修正する | |
| 4458 | 調査 | 終了 | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認 | |
| 4457 | 調査 | 終了 | InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認 | |
| 4450 | 機能 | 終了 | ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む | |
| 4422 | バグ | 終了 | NamingOnCorbaコンストラクタに渡すORBの参照カウントの問題 | |
| 4209 | 整備 | 終了 | Python3でsetup.pyを実行した場合にエラーが出る問題 | |
| 4154 | 整備 | 終了 | Raspbian環境でcpackによるdebパッケージ作成に対応させる | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 4153 | 整備 | 終了 | RTC生成時のrtc.confへ送信データのMAXサイズを定義する | |
| 4150 | 機能 | 終了 | create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す | |
| 4149 | 機能 | 終了 | create_componentで指定するidの変更 | |
| 4145 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 4144 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 4143 | バグ | 終了 | ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映 | |
| 4135 | 整備 | 終了 | doxygen設定ファイルdoxyfile.inを整備する | |
| 4134 | 整備 | 終了 | ドキュメント生成タブの「作成者・連絡先」情報がPROJECT_MAINTAINERにセットされるようにする | |
| 4133 | 整備 | 終了 | cmake_minimum_requiredを3.0.2とする | |
| 4132 | 整備 | 終了 | インストールされているOpenRTM-aistのバージョン番号取得処理を見直す | |
| 4128 | 機能 | 終了 | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する | |
| 4127 | 機能 | 終了 | RTCのプロパティにマネージャ名を設定する | |
| 4126 | バグ | 終了 | OpenRTPのAll in one パッケージ作成時のエラー処理を確認する | |
| 4119 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 4118 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 4117 | 機能 | 終了 | 同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する | |
| 4115 | バグ | 終了 | RTC間の接続線が描画されないことがある | |
| 4107 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャがマスターマネージャが存在するか定期的に確認する機能 | |
| 4032 | サポート | 終了 | ソースからインストールした時のヘッダのタイムスタンプ | |
| 4031 | 機能 | 終了 | manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する | |
| 4030 | 機能 | 終了 | モジュールロード時のエラーを取得できるようにする | |
| 4026 | バグ | 終了 | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceをenabled_servicesに修正する | |
| 4024 | バグ | 終了 | sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceの設定項目 | |
| 4023 | 整備 | 終了 | RCP版RTSystemEditorのマージモジュールをEclipse4.4ベースで作成する | |
| 4020 | バグ | 終了 | モジュールカテゴリの最後の文字が消える | |
| 4016 | バグ | 終了 | imageprocessingのdebパッケージにopencvの依存関係を追記する | |
| 4013 | 調査 | 終了 | RTSystemEditorRCPをWindowsで起動すると、Program Files以下のworkspaceに書き込めずに起動できないことがある。 | |
| 4010 | 整備 | 終了 | データポート生成部分の修正 | |
| 3993 | 整備 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートを整備する | |
| 3992 | 整備 | 終了 | PythonのRTC作成用テンプレートを整備する | |
| 3982 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用idlcompile.batでのパスとIDL設定を変更する | |
| 3980 | 整備 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートのWindows用インストーラ作成機能を整備する | |
| 3977 | バグ | 終了 | IDLファイルのコンパイルが実行されずインクルードファイルのエラーが発生する問題 | |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|---|------|
| 3965 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する 2 | |
| 3898 | 機能 | 終了 | RTC Builderが生成するソースファイルの文字コードを「BOM付UTF-8」にする | |
| 3893 | 整備 | 終了 | openrtm-aist rpmパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する | |
| 3892 | 整備 | 終了 | openrtm-aist debパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する | |
| 3891 | 整備 | 終了 | openrtm-aistのdebパッケージにexampleディレクトリが含まれないようにする | |
| 3890 | 整備 | 終了 | CMakeLists.txtのfind_package(OpenRTM)のHINTSを外す | |
| 3889 | 機能 | 終了 | OpenRTMConfig.cmakeでrtmCameraとrtmManipulatorもリンクライブラリに加える | |
| 3888 | 整備 | 終了 | FindOpenRTM.cmakeをリポジトリの管理から外す | |
| 3834 | 整備 | 終了 | OpenRTPのrpmパッケージ作成動作を確認する | |
| 3833 | 整備 | 終了 | PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する | |
| 3832 | 調査 | 終了 | OpenRTM-aist 1.2版がインストールされているLinux環境(64bit)でC++コンポーネントのcmake動作を確認する | |
| 3828 | 整備 | 終了 | OpenRTM-aist-Javaのrpmパッケージ作成処理を追加する | |
| 3827 | 整備 | 終了 | OpenRTM-aist-Javaのdebパッケージ作成処理を追加する | |
| 3785 | 整備 | 終了 | msm作成処理においてExtTriggerサンプルを起動するbatスクリプトを追加する | |
| 3760 | バグ | 終了 | 意味のない例外処理を削除する | |
| 3715 | 整備 | 終了 | Windows用インストーラmsiを生成する処理を外す | |
| 3713 | 機能 | 終了 | CPU affinityを設定する機能を追加する。 | |
| 3712 | 機能 | 終了 | CPU affinityを設定する機能を追加する。 | |
| 3710 | 整備 | 終了 | build.xmlで設定しているバージョン番号の定義方法を変更する | |
| 3709 | 整備 | 終了 | Windows用ソースパッケージにExtTriggerサンプルを追加する | |
| 3647 | 整備 | 終了 | rpmパッケージ名のアーキテクチャをi686にする | |
| 3601 | 機能 | 終了 | C++のRTC作成用テンプレートにDEB/RPMパッケージ作成機能を追加する | |
| 3413 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | 30.0 |
| 3412 | 機能 | 終了 | 名前付けポリシー機能の拡張 | 30.0 |
| 3411 | 機能 | 終了 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | 30.0 |
| 3410 | 機能 | 終了 | 共有メモリ型データポート接続機能 | 30.0 |
| 3409 | 機能 | 終了 | セキュアな通信機能 | 30.0 |
| 3408 | 機能 | 終了 | サービスポートのダイレクト接続機能 | 30.0 |
| 3407 | 機能 | 終了 | ダイレクトデータポート接続機能 | 30.0 |
| 3406 | 機能 | 終了 | トピックベースのポート接続機能 | 30.0 |
| 3405 | 機能 | 終了 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス） | 20.0 |
| 3404 | 機能 | 終了 | コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | 20.0 |
| 3403 | 機能 | 終了 | 起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同ープロセス） | 30.0 |

| # | トラッカー | ステータス | 題名 | 予定工数 |
|------|-------|-------|--|------|
| 3402 | 機能 | 終了 | コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同一プロセス） | 30.0 |
| 3401 | 機能 | 終了 | ネームサービス操作関数セットの実装 | 30.0 |
| 3400 | 機能 | 終了 | コンポーネント操作関数セットの実装 | 30.0 |
| 3274 | 機能 | 終了 | スレーブマネージャの名前によるグルーピング | |
| 3273 | 機能 | 終了 | 名前付けポリシー機能の拡張 | |
| 3272 | 機能 | 終了 | 名前ベースのコンポーネント指定方法の実装 | |
| 3271 | 機能 | 終了 | ネームサービス操作関数セットの実装 | |
| 3270 | 機能 | 終了 | コンポーネント操作関数セットの実装 | |
| 3269 | 機能 | 終了 | 共有メモリ型データポート接続機能 | |
| 3265 | 機能 | 終了 | セキュアな通信機能 | |
| 3263 | 機能 | 終了 | トピックベースのポート接続機能 | |
| 3262 | 機能 | 終了 | 起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス） | |